

佐賀県主要経済統計速報

(2025年11月号)

〈目次〉

1 概況

・佐賀県の動向	1 頁
(参考) 全国の動向	2 頁
九州の動向	3 頁

2 主要統計の動き

(1) 個人消費	百貨店・スーパー販売額	4 頁
	乗用車新規登録台数	5 頁
(2) 住宅建設	新設住宅着工戸数	6 頁
(3) 公共工事	公共工事前払保証請負金額	7 頁
(4) 鉱工業生産	鉱工業生産指数	8 頁
	鉱工業出荷、在庫指数	9 頁
(5) 雇用労働	所定外労働時間数	10 頁
	有効求人倍率	11・12 頁
(6) 企業倒産	企業倒産件数、負債金額	13 頁
(7) 物価	消費者物価指数	14 頁
(8) 金融	金融機関別貸出残高	15 頁
	貸出約定平均金利	
(9) 人口	人口、世帯	16 頁

3 佐賀県景気動向指数	17 頁
-------------	------

(注) 表中の p は速報値、r は確報値または改定値を表す。

令和7年(2025年)11月28日 発行

1 概 况

佐賀県の動向

本県経済の最近の動向（対前年同月比）をみると、

- ・需要面では、百貨店・スーパー販売額（9月）は、全店販売額が9ヵ月連続で下回った。
- 乗用車新規登録台数（10月）は、4ヵ月振りに上回った。
- 新設住宅着工戸数（9月）は、2ヵ月振りに上回った。
- 公共工事前払保証請負金額（10月）は、3ヵ月連続で上回った。
- ・生産面では、鉱工業生産指数（9月）は、2ヵ月連続で下回った。
- ・雇用面では、有効求人倍率（就業地別）（9月）は、23ヵ月連続で下回った。
- ・企業倒産件数（10月）は3件増で、負債金額（10月）は5ヵ月連続で上回った。
- ・金融機関（銀行）貸出残高（9月）は、68ヵ月連続で上回った。

項目			対象月	数 値	対前年同月比・増減分		前月比・増減分	
県内需要	個人消費	百貨店・スーパー販売額	9月	48億21 百万円	△5.1%		△14.0%	
		既存店販売額		—	1.0%		—	—
	乗用車新規登録台数	10月	2,344 台	1.3%		△2.7%		—
	住宅建設	新設住宅着工戸数	9月	493 戸	31.5%		54.5%	
	公共工事	公共工事前払保証請負金額	10月	95億81 百万円	24.1%		△18.2%	
生産	鉱工業生産指数（注）	9月	93.6	△1.1%		4.5%		—
雇用	所定外労働時間数指数（事業所規模30人以上）	9月	117.8	15.5%		—	—	—
	有効求人倍率・受理地別（季節調整済）	9月	1.21 倍	△ 0.08		△ 0.02		—
	有効求人倍率・就業地別（〃）	9月	1.34 倍	△ 0.12		△ 0.03		—
企業倒産	企業倒産状況 (累計は年間ベース) (注)	倒産件数（当月）	10月	4 件	3件		△3件	
		〃（累計）		45 件	25件		—	—
		負債金額（当月）		3億78 百万円	1億51百万円		△20億41百万円	
		〃（累計）		65億3 百万円	45億74百万円		—	—
物価	消費者物価指数（佐賀市）	9月	112.4	3.4%		△0.6%		—
金融	金融機関（銀行）貸出残高	9月	1兆5,442 億円	2.3%		△0.1%		—
人口	推計人口	11月	781,238 人	△6,189人		△113人		—
	推計世帯数		325,170 世帯	2,611世帯		270世帯		—
景気動向指数	先行指数	9月	37.5 %	—	—	—	—	—
	一致指数		42.9 %	—	—	—	—	—
	逕行指数		50.0 %	—	—	—	—	—

（注）鉱工業生産指数の前年同期比は原指数、前月比は季節調整済指数を比較したものである。

（注）企業倒産状況の矢印は、数値と逆方向を示す。

(参考)

全国の動向

(1) 総論

- 景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している。
- ・個人消費は、持ち直しの動きがみられる。
 - ・設備投資は、緩やかに持ち直している。
 - ・輸出は、おおむね横ばいとなっている。
 - ・生産は、横ばいとなっている。
 - ・企業収益は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられる中で、改善に足踏みがみられる。企業の業況判断は、おおむね横ばいとなっている。
 - ・雇用情勢は、改善の動きがみられる。
 - ・消費者物価は、上昇している。

先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要である。加えて、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要がある。

(2) 消費・投資等の需要動向

- ①個人消費は、持ち直しの動きがみられる。
- ②設備投資は、緩やかに持ち直している。
- ③住宅建設は、弱含んでいる。
- ④公共投資は、堅調に推移している。
- ⑤輸出は、おおむね横ばいとなっている。輸入は、おおむね横ばいとなっている。貿易・サービス収支は、赤字となっている。

(3) 企業活動と雇用情勢

- ①生産は、横ばいとなっている。
- ②企業収益は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられる中で、改善に足踏みがみられる。
- ③企業の業況判断は、おおむね横ばいとなっている。
- ④倒産件数は、このところ増加がみられる。
- ⑤雇用情勢は、改善の動きがみられる。

(4) 物価と金融情勢

- ①消費者物価は、上昇している。

②株価（日経平均株価）は、51,300円台から 52,400円台まで上昇した後、48,600円台まで下落した。対米ドル円レート（インターバンク直物中心相場）は、152円台から157円台まで円安方向に推移した。

（以上、内閣府「月例経済報告（令和7年11月）」令和7年11月26日）

(5) 国の景気動向指数（令和7年9月分C I・令和2年=100）

- ・先行指数 108.6 ・・・ 前月と比較して1.6ポイント上昇
- ・一致指数 114.6 ・・・ 前月と比較して1.8ポイント上昇
- ・遅行指数 112.4 ・・・ 前月と比較して0.2ポイント上昇

（以上、内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」（改定値）令和7年11月26日）

(参考)

九州の動向

1 総論

九州・沖縄の景気は、一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している。

最終需要の動向をみると、個人消費は、物価上昇などの影響を受けつつも、堅調に推移している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、増加している。設備投資は、高水準で推移している。輸出は、弱めの動きとなっている。

こうした中で、生産は、横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得情勢をみると、改善している。

先行きについては、各国の通商政策等の動きやその影響を受けた海外の経済・物価動向、コスト高との波及、労働需給と雇用者の所得形成などが、当地の経済・金融情勢に与える影響に留意する必要がある。

2 個人消費

- 個人消費は、物価上昇などの影響を受けつつも、堅調に推移している。

3 住宅投資

- 住宅投資は、弱めの動きとなっている。
9月の新設住宅着工戸数は、貸家の減少を主因に前年を下回った。

4 公共投資

- 公共投資は、増加している。
10月の公共工事請負金額は、国やその他公共的団体発注分の増加を主因に前年を上回った。

5 設備投資

- 設備投資は、高水準で推移している。
9月の建築物着工床面積（民間非居住用、後方3か月移動平均）は、前年を上回った。

6 輸出

- 輸出は、弱めの動きとなっている。
9月の輸出額（九州経済圏）は、前年を下回った。

7 生産

- 生産（鉱工業生産）は、横ばい圏内の動きとなっている。

8 雇用・所得

- 雇用・所得情勢をみると、改善している。
労働需給をみると、有効求人倍率は高水準で推移している。
8月の雇用者所得総額は、現金給与総額と常用労働者数の増加により前年を上回った。

9 物価

- 9月の消費者物価（九州地区、生鮮食品を除く総合）は、前年比+3.4%となった。

10 金融

- 9月の預金残高をみると、個人預金を中心に前年を上回った。
- 9月の貸出残高をみると、法人向けや個人向けを中心に前年を上回った。
- 企業倒産は、横ばい圏内の動きとなっている。
10月の企業倒産をみると、件数・負債総額ともに前年を上回った。

（以上、日本銀行福岡支店「九州・沖縄の金融経済概況（2025年11月）」2025年11月20日）

2 主要統計の動き

(1) 個人消費

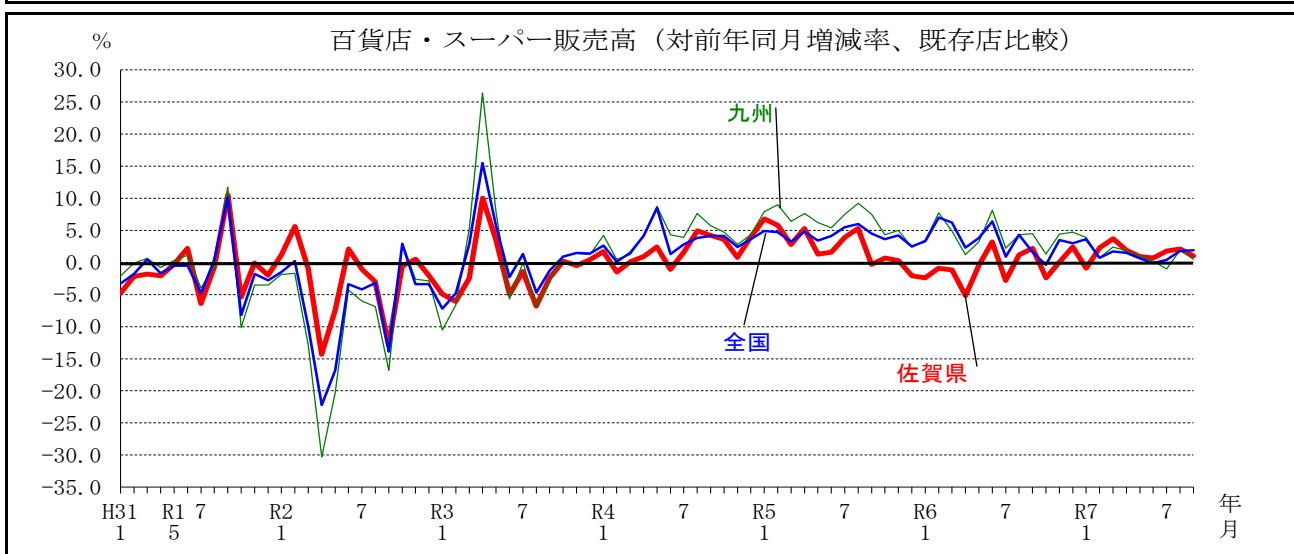
百貨店・スーパー販売額

(百万円、%)

年 月	佐 賀 県		対前年同月増減率			
	全 店 販 売 額		佐賀県全店	既存店		
	前月比	佐賀県		九 州	全 国	
令和2年	61,299		-1.0	-2.8	-8.5	-6.6
3	61,138		-0.9	-1.4	0.3	0.6
4	62,598		2.4	1.9	4.3	3.2
5	64,315		2.7	2.4	6.4	4.2
6	65,154		1.3	-0.5	4.1	3.4
令和6年 4月	5,223	-2.7	-5.2	-5.2	1.2	2.3
5	5,556	6.4	2.3	-0.4	3.2	3.8
6	5,689	2.4	5.8	3.2	8.1	6.4
7	5,857	3.0	-0.2	-2.8	2.2	0.9
8	5,817	-0.7	3.9	1.2	4.3	4.3
9	5,077	-12.7	4.9	2.2	4.5	1.6
10	5,272	3.8	0.1	-2.4	1.3	-0.4
11	5,604	6.3	2.4	0.0	4.4	3.5
12	7,070	26.2	5.2	2.4	4.7	3.0
7年 1月	5,185	-26.7	-3.2	-0.9	3.9	3.6
2	4,482	-13.6	-4.0	2.3	0.7	0.7
3	4,928	10.0	-2.6	3.7	2.4	1.7
4	4,821	-2.2	-0.9	1.9	1.8	1.5
5	5,042	4.6	-4.8	0.9	1.0	0.6
6	5,163	2.4	-4.7	0.7	0.2	-0.1
7	5,445	5.5	-3.7	1.8	-1.0	0.4
8	5,606	3.0	-3.6	2.1	1.9	1.8
9	4,821	-14.0	-5.1	1.0	0.5	1.9

経済産業省『商業動態統計確報』九州には沖縄を含む。

※令和2年3月分から調査対象事業所の見直しが行われたため、令和2年2月以前の月間販売額などとの間に不連続が生じている。したがって、令和2年3月分以降の一年間の対前年同月増減率は、令和2年2月分以前の月間販売額に、見直しに伴うギャップを調整するための「リンク係数」を乗じた数値をもとに算出している。



9月は、既存店（当年及び前年とも調査対象となった店舗）での比較は、前年同月比1.0%となり、8ヵ月連続で前年同月を上回った。

全店(調査対象が新設の店舗を含む)の販売額は48億21百万円で前年同月比5.1%減となり、9ヵ月連続で前年同月を下回った。

（1）個人消費（続き）

乗用車新規登録台数

(台、%)

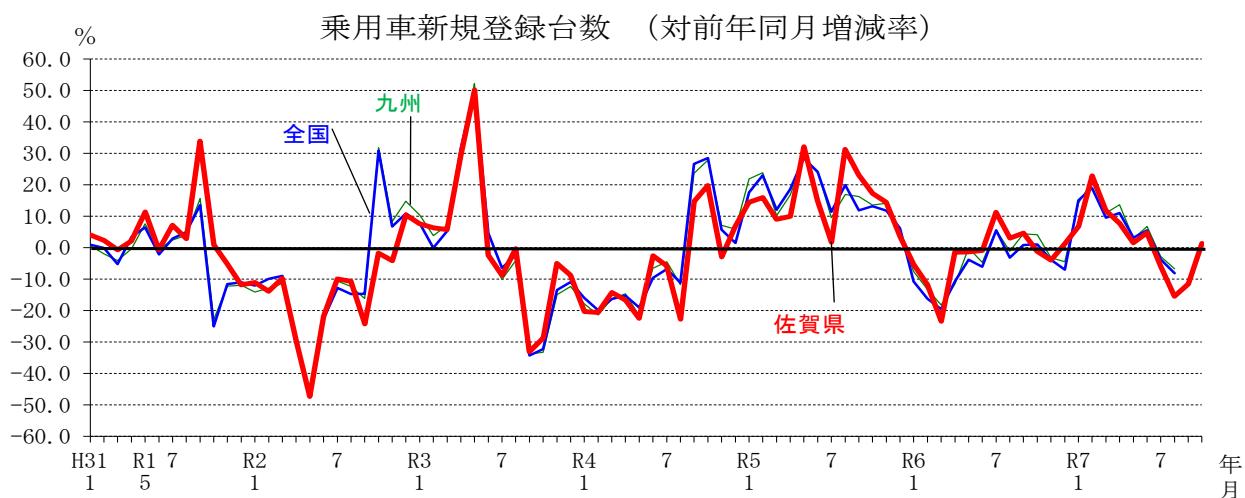
年 月	佐 賀 県			対前年同月増減率					
	総 数	内 訳		佐 賀 県			九 州	全 国	
		前月比	普通車	軽自動車	総 数	普通車	軽自動車		
令和2 年度	27,516		14,066	13,450	-10.2	-11.2	-9.0	-6.0	-7.6
3	24,845		12,868	11,977	-9.7	-8.5	-11.0	-11.5	-10.1
4	25,044		13,222	11,822	0.8	2.8	-1.3	4.9	4.2
5	26,456		14,459	11,997	5.6	9.4	1.5	6.1	5.4
6	27,645		15,293	12,352	4.5	5.8	3.0	3.2	1.4
令和 6 年 5 月	1,860	2.1	981	879	-1.4	-0.8	-2.0	-0.1	-3.9
6	2,175	16.9	1,217	958	-0.9	-1.4	-0.3	-4.7	-6.1
7	2,300	5.7	1,307	993	11.2	15.2	6.3	5.6	5.5
8	2,039	-11.3	1,126	913	3.0	10.1	-4.6	-1.2	-3.2
9	2,724	33.6	1,456	1,268	4.6	16.4	-6.2	4.4	0.8
10	2,315	-15.0	1,348	967	-1.2	14.6	-17.1	4.1	1.0
11	2,306	-0.4	1,344	962	-4.0	6.8	-15.8	-3.2	-3.9
12	2,230	-3.3	1,081	1,149	1.1	-11.8	17.2	-4.5	-7.0
7 年 1 月	2,264	1.5	1,315	949	6.7	6.3	7.4	14.2	15.0
2	2,693	18.9	1,421	1,272	22.8	8.2	44.5	20.9	18.9
3	2,917	8.3	1,664	1,253	11.8	3.7	24.7	11.0	9.5
4	1,962	-32.7	1,063	899	7.7	2.9	13.9	13.6	11.0
5	1,888	-3.8	1,005	883	1.5	2.4	0.5	2.9	3.1
6	2,278	20.7	1,230	1,048	4.7	1.1	9.4	6.7	5.5
7	2,160	-5.2	1,189	971	-6.1	-9.0	-2.2	-2.8	-3.8
8	1,722	-20.3	954	768	-15.5	-15.3	-15.9	-6.8	-8.2
9	2,408	39.8	1,288	1,120	-11.6	-11.5	-11.7		
10	2,344	-2.7	1,185	1,159	1.3	-12.1	19.9		

佐賀：日本自動車販売協会連合会福岡県自動車販売店協会、全国軽自動車協会連合会調

九州・全国：九州経済産業局『九州主要経済指標（速報）』

※普通車には小型車を含む。

※九州、全国の指標（対前年同月増減率）は普通車と軽自動車の合計。九州には沖縄を含まない。



10月は、2,344台で前年同月比1.3%増となり、4ヵ月振りに上回った。また、前月比は2.7%減となつた

(2) 住宅建設

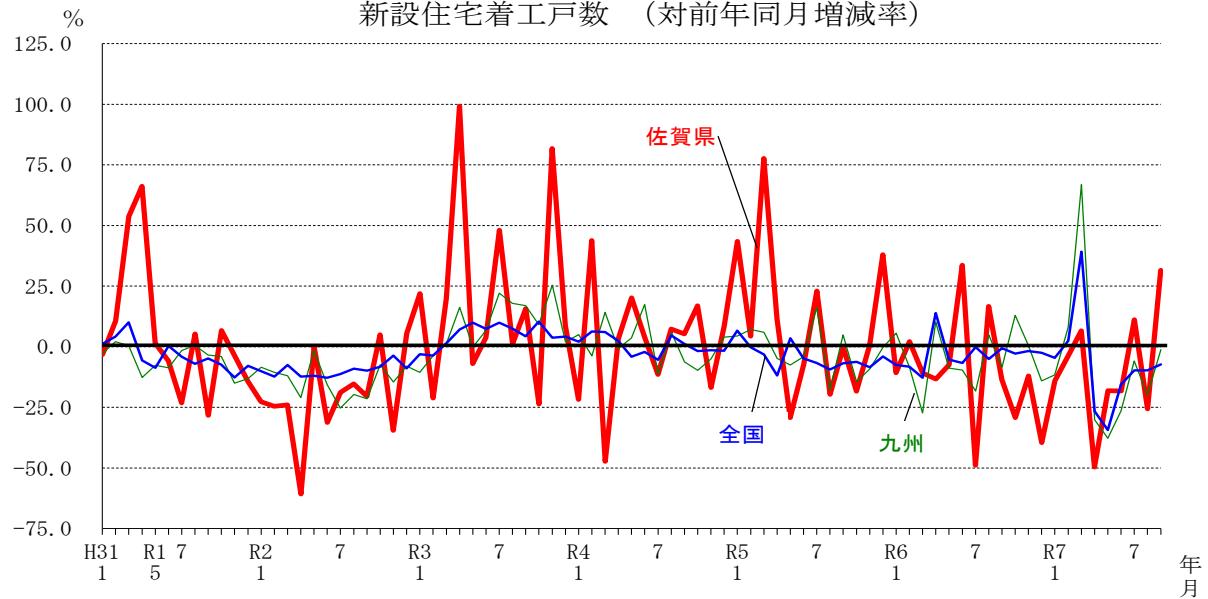
新設住宅着工戸数

(戸、%)

年 月	佐 賀 県		戸数対前年同月増減率			累計戸数対前年同月増減率		
	戸 数	累計戸数	佐賀県	九 州	全 国	佐賀県	九 州	全 国
前月比								
令和2年			4,409			-22.3	-14.2	-9.9
3			5,112			15.9	8.4	5.0
4			5,050			-1.2	0.6	0.4
5			5,382			6.6	-2.0	-4.6
6			4,632			-13.9	-5.9	-3.4
令和6年	4月	504	37.3	1,677	-13.3	10.1	13.9	-8.6
	5	270	-46.4	1,947	-7.5	-8.8	-5.3	-8.4
	6	505	87.0	2,452	33.6	-9.7	-6.7	-2.1
	7	295	-41.6	2,747	-48.9	-18.3	-0.2	-10.8
	8	429	45.4	3,176	16.6	4.9	-5.1	-7.9
	9	375	-12.6	3,551	-13.6	-8.5	-0.6	-8.6
	10	275	-26.7	3,826	-29.3	13.0	-2.9	-10.4
	11	432	57.1	4,258	-12.0	0.5	-1.8	-10.6
	12	374	-13.4	4,632	-39.6	-14.1	-2.5	-13.9
7年	1月	311	-16.8	311	-14.1	-11.6	-4.6	-14.1
	2	427	37.3	738	-3.8	8.1	2.4	-8.4
	3	391	-8.4	1,129	6.5	66.8	39.2	-3.8
	4	254	-35.0	1,383	-49.6	-30.2	-26.6	-17.5
	5	221	-13.0	1,604	-18.1	-37.7	-34.4	-17.6
	6	413	86.9	2,017	-18.2	-26.5	-15.6	-17.7
	7	328	-20.6	2,345	11.2	-5.9	-9.7	-14.6
	8	319	-2.7	2,664	-25.6	-19.8	-9.8	-16.1
	9	493	54.5	3,157	31.5	-1.2	-7.3	-11.1

国土交通省『建築着工統計』 ※九州には沖縄を含む。

新設住宅着工戸数 (対前年同月増減率)



9月は、493戸で前年同月比31.5%増となり、2ヵ月振りに上回った。また、前月比は54.5%増となつた。

(3) 公共工事

公共工事前払保証請負金額

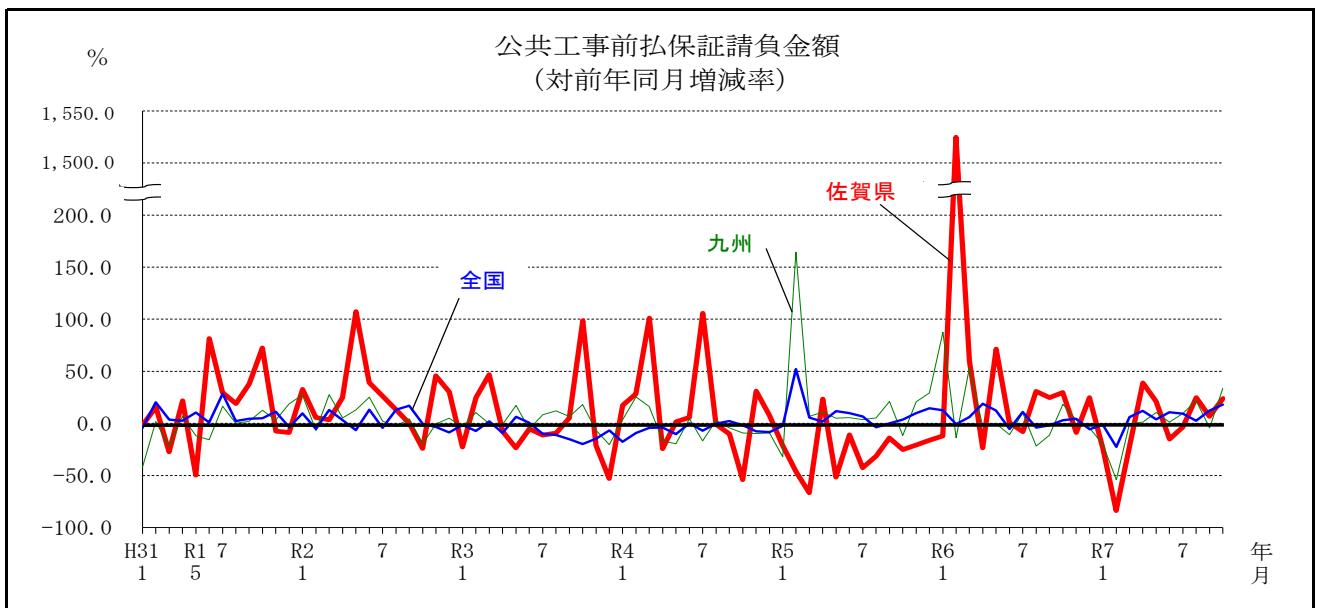
(百万円、%)

年 月	佐 賀 県		請負金額対前年同月増減率			累計金額対前年同月増減率		
	請負金額	累計金額	佐賀県	九 州	全 国	佐賀県	九 州	全 国
	前月比							
令和2 年度			141,906			23.7	2.5	2.3
3			147,401			3.9	6.1	-8.6
4			126,937			-13.9	1.9	-0.4
5			161,612			27.3	13.2	5.3
6			115,702			-28.4	-9.5	3.2
令和 6 年	5 月	10,720	-42.2	29,264	71.4	-0.2	12.3	-4.0
	6	13,987	30.5	43,251	0.7	-10.9	-5.3	-2.6
	7	10,781	-22.9	54,033	-7.9	10.2	10.9	-3.7
	8	11,315	5.0	65,349	30.7	-21.8	-3.9	0.9
	9	10,977	-3.0	76,327	24.9	-11.3	-1.9	3.8
	10	7,722	-29.7	84,049	29.7	18.5	3.2	5.7
	11	6,049	-21.7	90,099	-8.7	3.5	4.6	-3.2
	12	4,859	-19.7	94,958	24.9	-4.5	-5.7	5.5
7 年	1 月	3,000	-38.3	97,959	-24.2	-19.9	-1.3	4.2
	2	9,342	211.4	107,301	-83.6	-54.1	-22.5	-28.9
	3	8,401	-10.1	115,702	-21.2	-0.1	6.0	-28.4
	4	25,789	207.0	25,789	39.1	1.2	12.0	39.1
	5	12,998	-49.6	38,788	21.3	10.4	4.0	32.5
	6	11,877	-8.6	50,665	-15.1	1.3	10.8	17.1
	7	10,397	-12.5	61,063	-3.6	9.6	9.5	13.0
	8	14,107	35.7	75,170	24.7	21.8	2.7	15.0
	9	11,713	-17.0	86,884	6.7	-4.3	12.5	13.8
	10	9,581	-18.2	96,466	24.1	33.8	18.1	14.8

西日本建設業保証(株)

※佐賀県と九州の値は、西日本建設業保証(株)のみの保証契約のデータ、全国の値は、北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)の保証契約のデータを集計している。

※四捨五入の関係で累計額が内訳と一致しない場合がある。九州には沖縄を含む。



10月は、95億81百万円で前年同月比24.1%増となり、3ヵ月連続で上回った。また、前月比は18.2%減となつた。

(4) 鉱工業生産

鉱工業生産指数 (季節調整済)

(%)

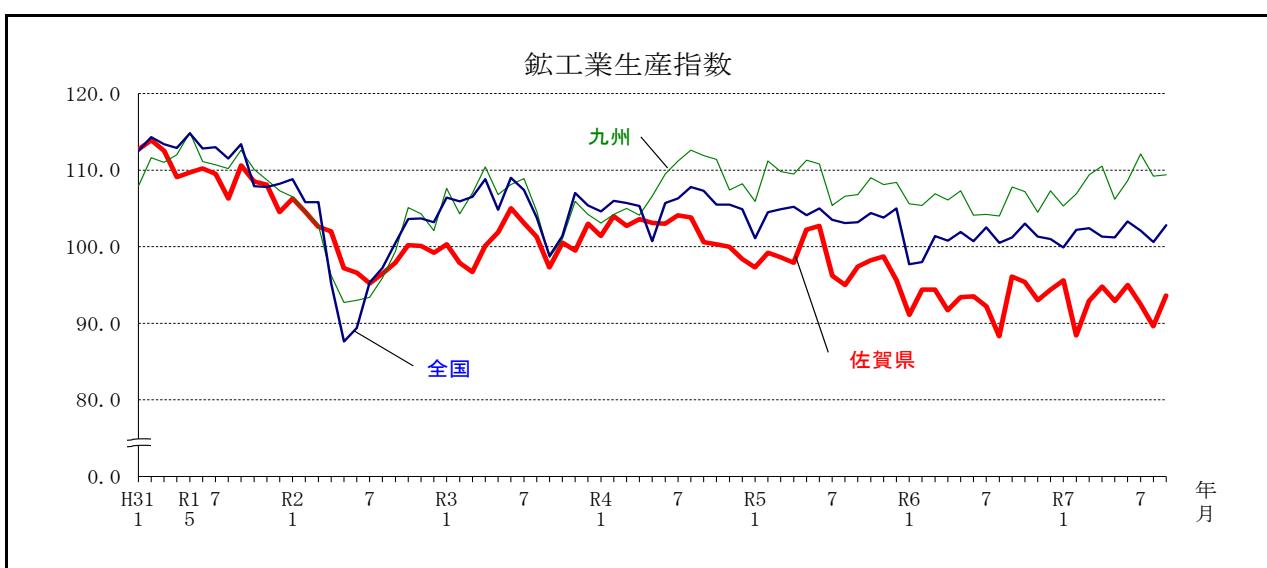
年 月	指 数			対 前 月 増 減 率			対 前 年 同 月 増 減 率		
	佐賀県 R2=100	九 州 R2=100	全 国 R2=100	佐賀県 R2=100	九 州 R2=100	全 国 R2=100	佐賀県 R2=100	九 州 R2=100	全 国 R2=100
令和2 年平均	100.0	100.0	100.0				-8.4	-9.4	-10.4
3	100.5	105.6	105.4				0.5	5.6	5.4
4	101.9	107.8	105.3				1.4	2.1	-0.1
5	98.4	108.6	103.9				-3.4	0.7	-1.3
6	93.6	106.1	101.2				-4.9	-2.3	-2.6
令和6 年 4月	91.7	106.1	100.8	-2.9	-0.7	-0.6	-6.1	-0.6	-2.0
5	93.4	107.3	101.9	1.9	1.1	1.1	-6.2	-1.6	0.7
6	93.5	104.1	100.7	0.1	-3.0	-1.2	-12.1	-9.9	-8.2
7	92.2	104.2	102.5	-1.4	0.1	1.8	-1.9	1.3	2.6
8	88.3	104.0	100.5	-4.2	-0.2	-2.0	-9.7	-4.8	-4.9
9	96.1	107.8	101.2	8.8	3.7	0.7	-2.6	0.4	-3.2
10	95.4	107.2	103.0	-0.7	-0.6	1.8	-0.2	1.1	0.8
11	93.0	104.5	101.3	-2.5	-2.5	-1.7	-5.5	-4.4	-3.3
12	94.4	107.3	101.0	1.5	2.7	-0.3	1.1	1.6	-2.2
7年 1月	95.6	105.3	99.9	1.3	-1.9	-1.1	5.6	-0.3	2.2
2	88.4	106.9	102.2	-7.5	1.5	2.3	-11.1	-0.6	0.1
3	92.9	109.4	102.4	5.1	2.3	0.2	-1.6	2.4	1.0
4	94.8	110.5	101.3	2.0	1.0	-1.1	3.3	4.2	0.5
5	92.9	106.2	101.2	-2.0	-3.9	-0.1	-2.1	-2.8	-2.4
6	95.0	108.6	103.3	2.3	2.3	2.1	3.2	6.2	4.4
7	92.5	112.1	102.1	-2.6	3.2	-1.2	0.3	7.6	-0.4
8	89.6	r 109.2	r 100.6	-3.1	r -2.6	r -1.5	-0.1	r 3.1	r -1.6
9	93.6	p 109.4	p 102.8	4.5	p 0.2	p 2.2	-1.1	p 3.3	p 3.4

佐賀：統計分析課『佐賀県鉱工業指標月報』 令和2年=100

九州・全国：九州経済産業局『九州地域の鉱工業動向（速報）』 (九州) 令和2年=100、(全国) 令和2年=100

※令和7年の数値は年間補正後若干変動する場合がある。

※年平均の指標及び対前年同月増減率は原指標。九州には沖縄を含まない。



9月は、93.6で前年同月比1.1%減となり、2ヵ月連続で下回った。また、前月比は4.5%増となった。

(4) 鉱工業生産（続き）

鉱工業出荷、在庫指標（季節調整済）

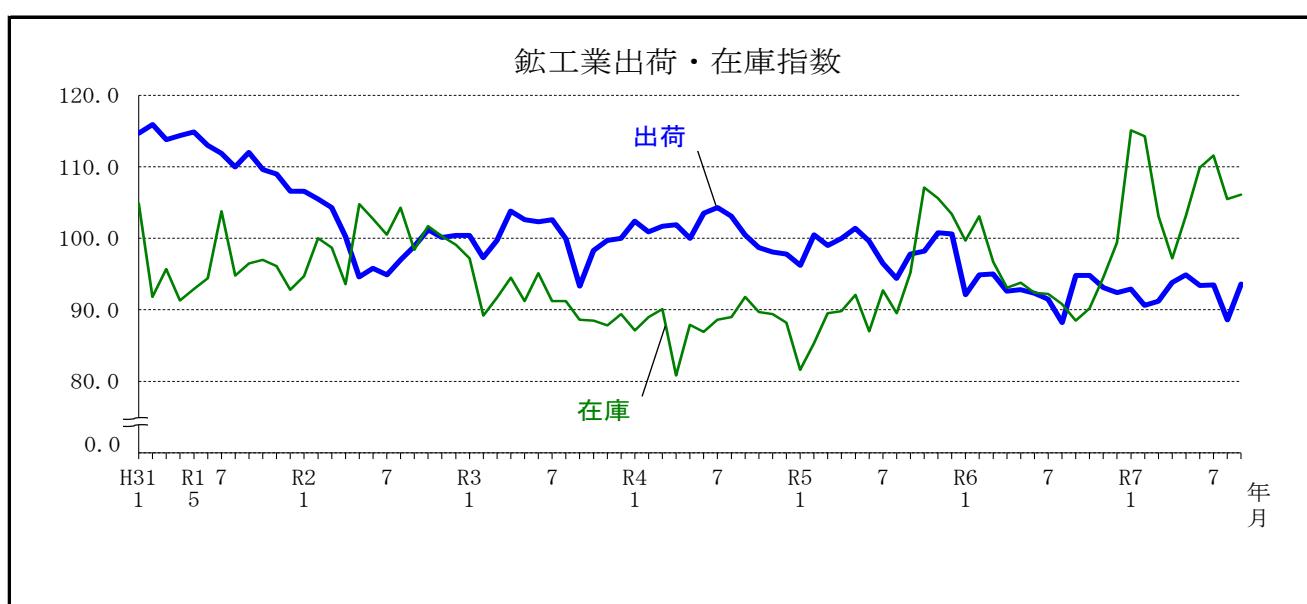
(%)

年 月	出 荷		在 庫	
	指 数	対前年同 月増減率	指 数	対前年同 月増減率
令和2 年平均	100.0	-10.6	100.0	4.1
3	100.0	0.0	91.3	-8.7
4	100.9	0.9	88.3	-3.3
5	98.8	-2.1	93.5	5.9
6	93.2	-5.7	94.5	1.1
令和6 年 4 月	92.6	-5.9	93.1	1.9
5	92.8	-6.9	93.8	1.5
6	92.3	-11.5	92.4	4.2
7	91.5	-2.6	92.2	-1.5
8	88.2	-10.4	90.8	0.7
9	94.8	-3.7	88.5	-8.9
10	94.8	-0.1	90.2	-16.8
11	93.1	-6.8	94.5	-8.5
12	92.4	-4.8	99.4	-0.7
7 年 1 月	92.9	1.8	115.1	15.9
2	90.6	-7.6	114.3	8.1
3	91.2	-4.0	103.1	6.7
4	93.8	1.4	97.2	4.4
5	94.9	0.1	103.2	10.0
6	93.4	3.3	109.9	19.0
7	93.5	2.2	111.6	21.1
8	88.6	-1.6	105.5	16.2
9	93.6	0.8	106.1	19.9

統計分析課『佐賀県鉱工業指標月報』 令和2年=100

※令和7年の数値は年間補正後若干変動する場合がある。

※年平均の指標及び対前年同月増減率は原指標。



(5) 雇用労働

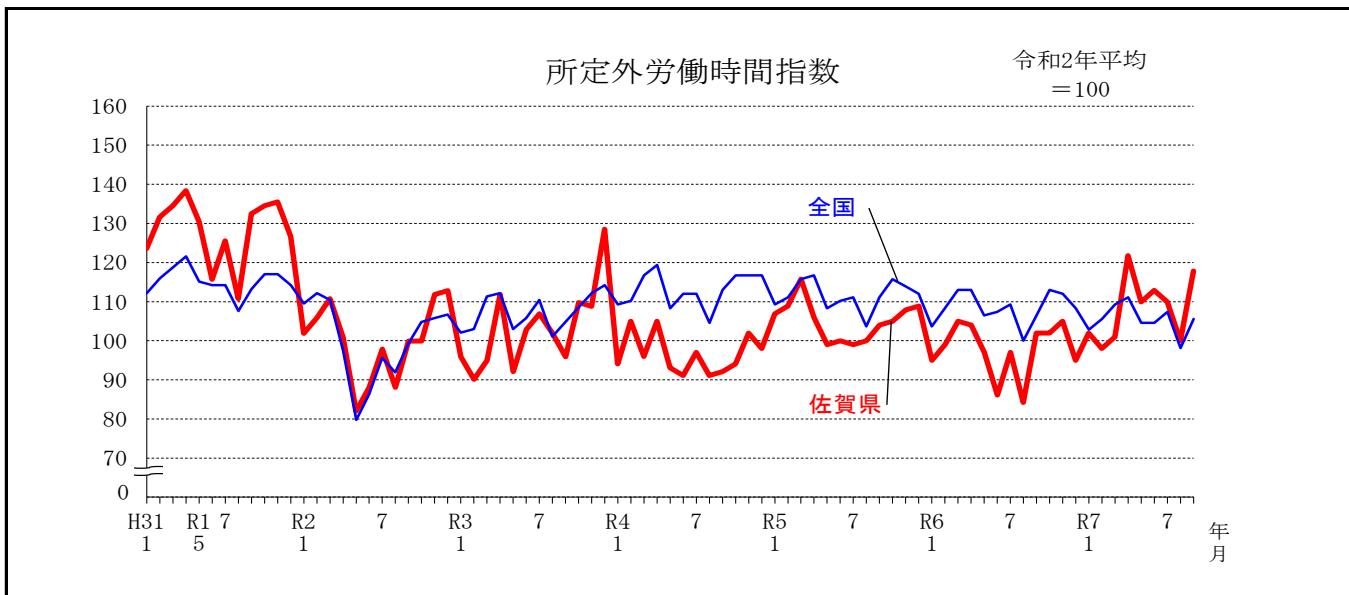
所定外労働時間数

令和2年平均=100

(時間、%)

年 月	所定外労働時間数		同 指 数		対前年同月増減率	
	佐賀県	全 国	佐賀県	全 国	佐賀県	全 国
令和2 年平均	10.1	10.8	100.0	100.0	-22.0	-13.1
3	10.4	11.6	103.3	107.4	3.3	7.4
4	9.8	12.2	96.6	113.0	-6.5	5.2
5	10.6	12.1	105.1	111.6	8.8	-1.2
6	9.9	11.7	97.6	108.4	-3.6	-2.6
令和6 年 4 月	10.5	12.2	104.0	113.0	2.0	-3.2
5	9.8	11.5	97.0	106.5	1.0	-1.7
6	8.7	11.6	86.1	107.4	-10.3	-2.5
7	9.8	11.8	97.0	109.3	1.0	-0.8
8	8.5	10.8	84.2	100.0	-12.3	-2.7
9	10.3	11.5	102.0	106.5	3.0	-4.1
10	10.3	12.2	102.0	113.0	1.0	-2.3
11	10.6	12.1	105.0	112.0	1.9	-1.7
12	9.6	11.7	95.0	108.3	-8.7	-3.3
7 年 1 月	10.3	11.1	102.0	102.8	7.4	-0.9
2	9.9	11.4	98.0	105.6	-1.0	-2.5
3	10.2	11.8	101.0	109.3	-3.8	-3.3
4	12.3	12.0	121.8	111.1	17.1	-1.7
5	11.1	11.3	109.9	104.6	13.3	-1.8
6	11.4	11.3	112.9	104.6	31.1	-2.6
7	11.1	11.6	109.9	107.4	13.3	-1.7
8	10.1	10.6	100.0	98.1	18.8	-1.9
9	11.9	11.4	117.8	105.6	15.5	-0.8

佐賀：統計分析課『毎月勤労統計調査（地方調査）』（事業所規模30人以上）
 全国：厚生労働省『　　〃　　（全国調査）』（　　〃　　）（再集計値）
 ※増減率は指数をベースとする。



9月は、117.8で前年同月比15.5%増となり、6ヵ月連続で上回った。

(5) 雇用労働（続き）

有効求人倍率(受理地別)(季節調整済) (倍)

年 月	有効求人倍率		
	佐賀県	九 州	全 国
令和2 年度	1.07	1.05	1.10
3	1.26	1.14	1.16
4	1.36	1.26	1.31
5	1.34	1.24	1.29
6	1.29	1.18	1.25
令和 6 年 4 月	1.32	1.21	1.26
5	1.31	1.19	1.25
6	1.29	1.17	1.24
7	1.28	1.18	1.25
8	1.31	1.19	1.24
9	1.29	1.19	1.25
10	1.30	1.19	1.25
11	1.29	1.18	1.25
12	1.30	1.18	1.25
7 年 1 月	1.28	1.18	1.26
2	1.23	1.16	1.24
3	1.25	1.17	1.26
4	1.28	1.17	1.26
5	1.25	1.16	1.24
6	1.26	1.15	1.22
7	1.27	1.15	1.22
8	1.23	1.12	1.20
9	1.21	1.11	1.20

佐賀労働局『一般職業紹介状況』

厚生労働省『一般職業紹介状況』

※パートタイムを含む。九州には沖縄を含む。

※年度の数値は原数値。

地区別有効求人倍率(受理地別) (原数値) (倍)

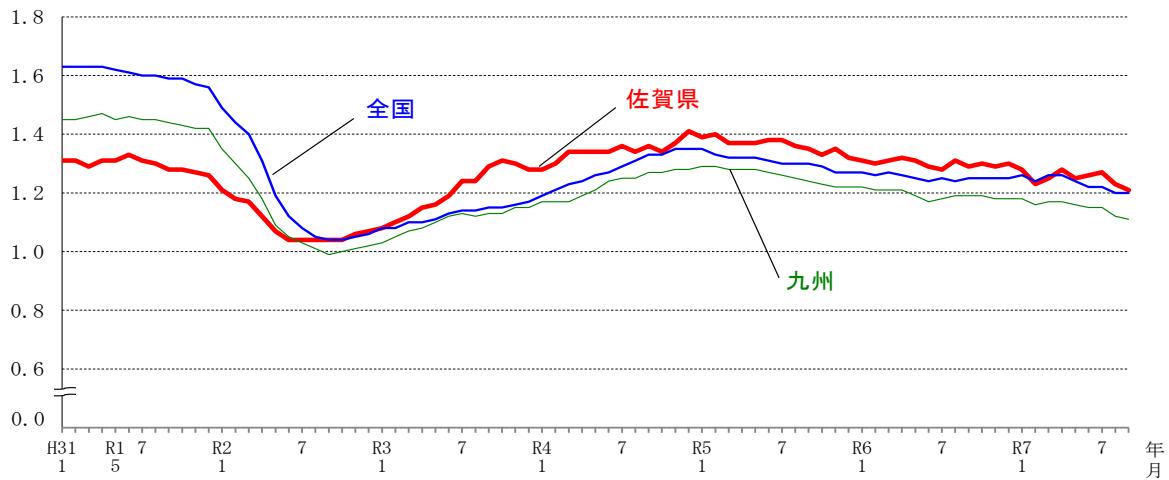
年 月	ハローワーク別有効求人倍率					
	佐 賀	唐 津	武 雄	伊 万里	鳥 栖	鹿 島
令和2年度	1.08	0.98	1.03	1.06	1.22	0.95
3	1.26	1.17	1.23	1.33	1.33	1.17
4	1.38	1.26	1.31	1.59	1.34	1.35
5	1.37	1.24	1.27	1.52	1.31	1.37
6	1.27	1.29	1.20	1.51	1.21	1.43
令和6年 4月	1.24	1.19	1.08	1.36	1.19	1.31
5	1.20	1.16	1.05	1.35	1.19	1.28
6	1.19	1.18	1.08	1.35	1.14	1.29
7	1.24	1.21	1.17	1.38	1.18	1.27
8	1.25	1.24	1.21	1.52	1.18	1.37
9	1.20	1.23	1.25	1.61	1.16	1.34
10	1.26	1.32	1.24	1.68	1.18	1.43
11	1.32	1.34	1.32	1.65	1.26	1.45
12	1.48	1.57	1.37	1.67	1.40	1.58
7年 1月	1.39	1.44	1.32	1.61	1.29	1.66
2	1.31	1.36	1.23	1.54	1.20	1.60
3	1.24	1.30	1.14	1.47	1.15	1.58
4	1.22	1.16	1.12	1.28	1.07	1.40
5	1.14	1.16	1.10	1.30	0.99	1.42
6	1.16	1.16	1.14	1.38	0.95	1.34
7	1.22	1.18	1.28	1.50	1.02	1.32
8	1.16	1.19	1.29	1.45	1.02	1.30
9	1.11	1.15	1.23	1.49	1.08	1.27

佐賀労働局『一般職業紹介状況』

※パートタイムを含む。

倍

有効求人倍率(季節調整済)



9月は、1.21倍で前年同月を0.08ポイント下回り、25ヵ月連続で前年同月を下回った。また、前月比は0.02ポイント下回った。

(5) 雇用労働 (続き)

有効求人倍率(就業地別) (季節調整済) (倍)

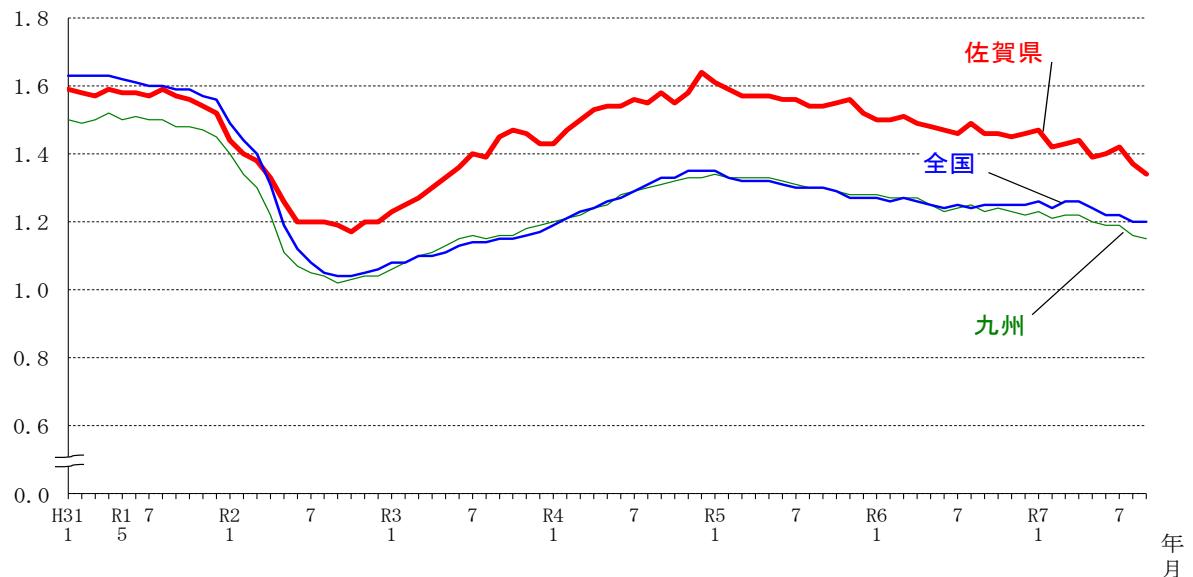
年 月	有効求人倍率		
	佐賀県	九 州	全 国
令和 6 年 4 月	1.49	1.27	1.26
	1.48	1.25	1.25
	1.47	1.23	1.24
	1.46	1.24	1.25
	1.49	1.25	1.24
	1.46	1.23	1.25
	1.46	1.24	1.25
	1.45	1.23	1.25
	1.46	1.22	1.25
	1.47	1.23	1.26
	1.42	1.21	1.24
	1.43	1.22	1.26
7 年 1 月	1.44	1.22	1.26
	1.39	1.20	1.24
	1.40	1.19	1.22
	1.42	1.19	1.22
	1.37	1.16	1.20
	1.34	1.16	1.20

厚生労働省『一般職業紹介状況』

※パートタイムを含む。九州には沖縄を含む。

倍

有効求人倍率(就業地別) (季節調整済)



9月は、1.34倍で前年同月を0.12ポイント下回り、23ヵ月連続で前年同月を下回った。また、前月比は0.03ポイント下回った。

(6) 企業倒産

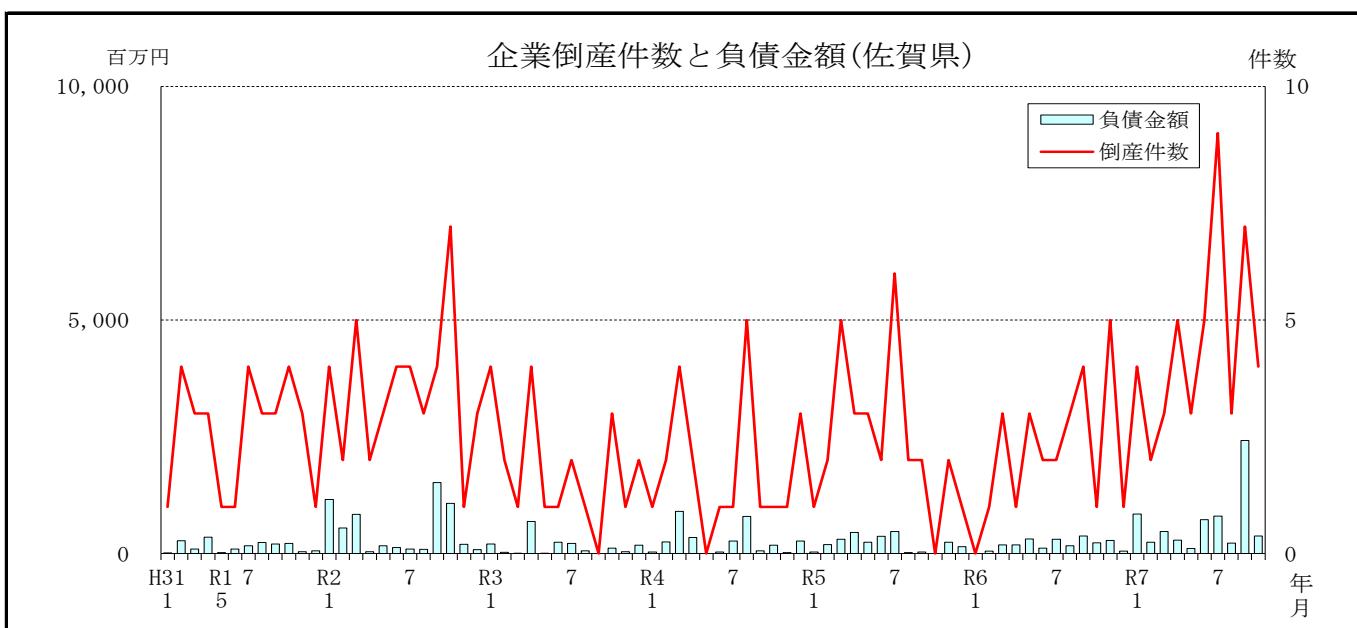
企業倒産件数、負債金額

(件、百万円、%)

年 月	佐 賀 県				累計件数対前年同月増減率			累計金額対前年同月増減率			
	件 数	累計件数	金 額	累計金額	佐賀県	九 州	全 国	佐賀県	九 州	全 国	
令和 2 年		42		5,944	35.5	-11.4	-7.3	235.8	11.4	-14.3	
3		22		1,795	-47.6	-24.8	-22.4	-69.8	-24.8	-5.7	
4		22		3,156	0.0	15.0	6.6	75.8	77.5	102.6	
5		29		2,503	31.8	33.6	35.2	-20.7	-36.4	3.1	
6		26		2,259	-10.3	22.9	15.1	-9.7	29.8	-2.5	
令和 6 年	5 月	3	8	315	737	-42.9	40.6	25.6	-39.7	38.0	-22.0
	6	2	10	118	855	-37.5	31.0	22.0	-46.2	37.2	-22.8
	7	2	12	305	1,160	-45.5	31.8	22.6	-43.7	37.7	37.0
	8	3	15	166	1,326	-37.5	25.5	18.8	-36.3	33.1	33.1
	9	4	19	376	1,702	-26.9	23.3	18.1	-19.6	27.4	-8.4
	10	1	20	227	1,929	-23.1	25.7	17.7	-8.9	25.6	-9.8
	11	5	25	280	2,209	-10.7	24.4	16.3	-6.3	33.5	-6.5
	12	1	26	50	2,259	-10.3	22.9	15.1	-9.7	29.8	-2.5
7 年	1 月	4	4	844	844	-	19.6	19.8	-	-11.7	53.5
	2	2	6	244	1,088	500.0	16.7	13.5	2,076.0	36.5	33.8
	3	3	9	469	1,557	125.0	12.2	6.0	557.0	49.3	8.4
	4	5	14	288	1,845	180.0	10.5	5.9	337.2	79.6	4.2
	5	3	17	109	1,954	112.5	2.5	0.8	165.1	52.4	-4.4
	6	5	22	723	2,677	120.0	0.2	1.2	213.1	15.7	-4.3
	7	9	31	804	3,481	158.3	2.2	1.1	200.1	19.5	-42.9
	8	3	34	225	3,706	126.7	4.4	2.3	179.5	11.8	-39.4
	9	7	41	2,419	6,125	115.8	4.8	2.9	259.9	14.1	-37.6
	10	4	45	378	6,503	125.0	7.4	3.3	237.1	15.2	-39.1

(株) 東京商エリサーチ『全国企業倒産状況』

※負債金額 1 千万円以上。九州には沖縄を含む。



(7) 物 價

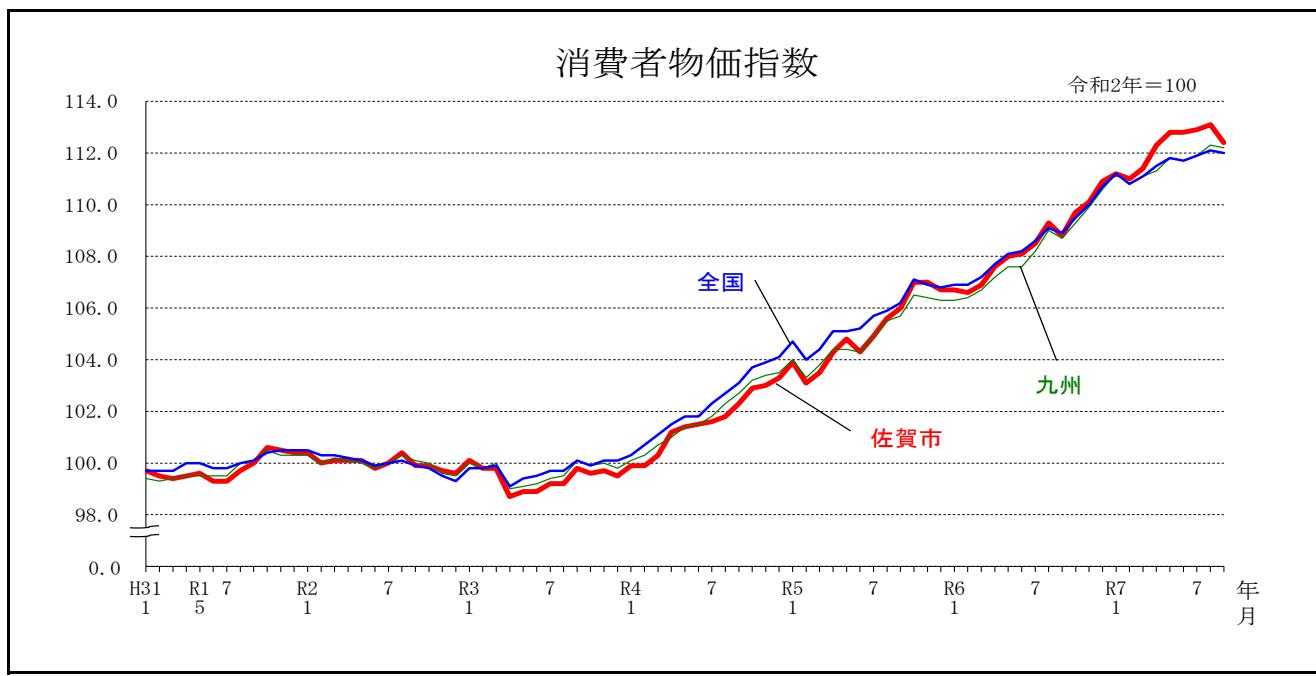
消費者物価指数

令和2年=100

(%)

年 月	指 数			対 前 月 増 減 率			対 前 年 同 月 増 減 率		
	佐 賀 市	九 州	全 国	佐 賀 市	九 州	全 国	佐 賀 市	九 州	全 国
令和2 年平均	100.0	100.0	100.0				0.2	0.2	0.0
3	99.4	99.7	99.8				-0.6	-0.3	-0.2
4	101.6	101.8	102.3				2.2	2.2	2.5
5	105.1	105.0	105.6				3.4	3.1	3.2
6	108.4	108.1	108.5				3.2	3.0	2.7
令和 6 年 4 月	107.6	107.2	107.7	0.7	0.4	0.4	3.2	2.7	2.5
5	108.0	107.6	108.1	0.4	0.4	0.4	3.0	3.0	2.8
6	108.1	107.6	108.2	0.1	0.1	0.1	3.6	3.2	2.8
7	108.5	108.2	108.6	0.5	0.5	0.4	3.4	3.1	2.8
8	109.3	109.0	109.1	0.7	0.7	0.5	3.5	3.4	3.0
9	108.8	108.7	108.9	-0.5	-0.3	-0.3	2.6	2.8	2.5
10	109.7	109.3	109.5	0.8	0.6	0.6	2.5	2.6	2.3
11	110.1	109.9	110.0	0.4	0.5	0.4	2.9	3.3	2.9
12	110.9	110.6	110.7	0.7	0.7	0.6	3.9	4.0	3.6
7 年 1 月	111.2	111.2	111.2	0.3	0.5	0.5	4.2	4.5	4.0
2	111.0	110.8	110.8	-0.2	-0.3	-0.4	4.1	4.1	3.7
3	111.4	111.1	111.1	0.3	0.3	0.3	4.2	4.1	3.6
4	112.3	111.3	111.5	0.8	0.2	0.4	4.4	3.9	3.6
5	112.8	111.8	111.8	0.5	0.4	0.3	4.5	3.9	3.5
6	112.8	111.7	111.7	0.0	-0.1	-0.1	4.4	3.8	3.3
7	112.9	111.9	111.9	0.1	0.2	0.2	4.1	3.4	3.1
8	113.1	112.3	112.1	0.2	0.3	0.2	3.5	3.0	2.7
9	112.4	112.2	112.0	-0.6	-0.1	-0.1	3.4	3.3	2.9

統計分析課『消費者物価指数』
※九州には沖縄（那覇市）を含む。



9月は、112.4で前年同月比3.4%増となった。また、前月比は0.6%減となった。

(8) 金融

金融機関別貸出残高(佐賀県)

年 月 末	合 計	銀 行	銀行対前年 同月増減率				貸出約定平均 金利	(年利%)
			前月比	信 用 金 庫	信 用 組 合	佐 賀 県		
						全 国		
令和2年	17,227	13,892		2,618	717	4.8	5.7	
3	17,348	14,015		2,622	711	0.9	1.2	
4	17,884	14,515		2,660	709	3.6	4.9	
5	18,430	14,946		2,727	757	3.0	3.8	
6	18,823	15,246		2,787	790	2.0	4.7	
令和6年 5月	18,419	14,932	0.7	2,727	760	1.6	4.7	0.858
6	18,468	14,968	0.2	2,728	772	1.8	5.0	0.828
7	18,478	14,970	0.0	2,731	777	1.7	4.8	0.802
8	18,578	15,057	0.6	2,743	778	1.8	4.5	0.798
9	18,607	15,090	0.2	2,741	776	2.0	4.0	0.933
10	18,569	15,043	-0.3	2,746	780	1.5	4.1	
11	18,675	15,117	0.5	2,773	785	2.1	4.4	
12	18,823	15,246	0.9	2,787	790	2.0	4.7	
7年 1月	18,778	15,209	-0.2	2,780	789	1.0	5.0	0.951
2	18,849	15,264	0.4	2,794	791	1.2	4.4	0.971
3	18,975	15,356	0.6	2,821	798	2.4	3.9	1.015
4	18,871	15,282	-0.5	2,802	787	3.0	3.4	1.036
5	19,004	15,380	0.6	2,827	797	3.0	3.2	1.046
6	18,966	15,355	-0.2	2,819	792	2.6	3.6	1.097
7	18,996	15,382	0.2	2,821	793	2.8	3.6	1.106
8	19,098	15,462	0.5	2,837	799	2.7	3.8	1.106
9	19,076	15,442	-0.1	2,844	790	2.3	4.1	1.118
10				2,850	797			

佐賀：日本銀行福岡支店『県別預金貸出金残高統計/国内銀行』
佐賀県信用金庫協会、佐賀県信用組合協会提供

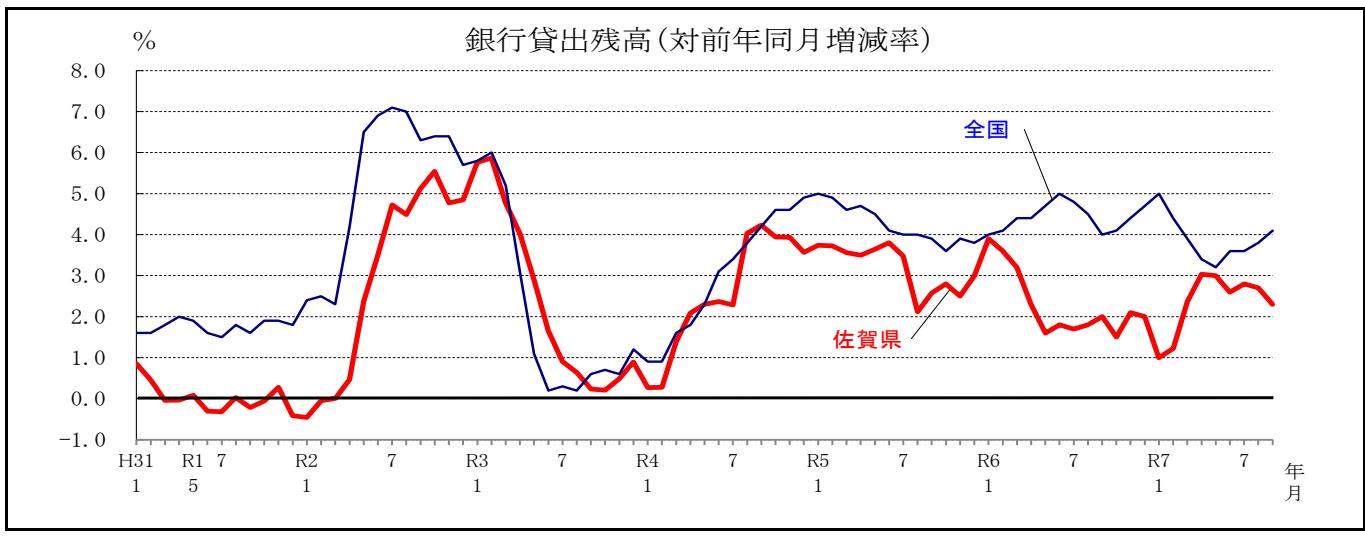
全国：日本銀行『金融経済統計月報』

※暦年値は各年12月を採用。

※四捨五入の関係で合計額が内訳と一致しない場合がある。

全国：日本銀行『貸出約定平均金利の推移』
※貸出約定平均金利には当座貸越を含む。

※暦年値は各年12月を採用。



9月の銀行貸出残高は、1兆5,442億円で前年同月比2.3%増となり、68カ月連続で前年同月を上回った。また、前月比は、0.1%減となった。

(9) 人口

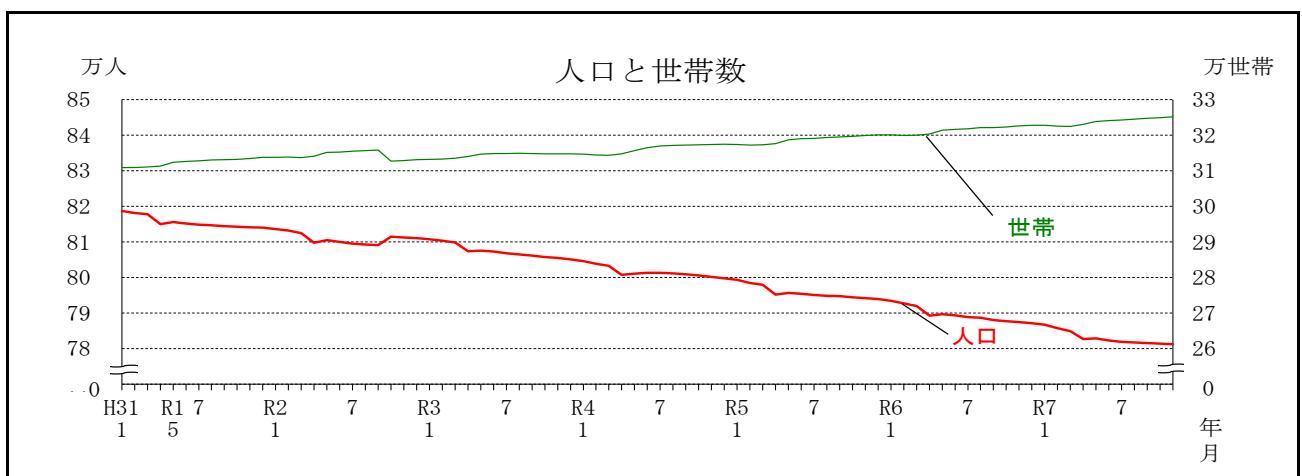
人口、世帯

年月	人口	(人)		世帯数	(世帯)	
		対前月増減数	対前年増減数		対前月増減数	対前年増減数
令和2年	811,442			-2,769	312,680	-452
3	805,721			-5,721	314,731	2,051
4	800,511			-5,210	317,304	2,573
5	794,385			-6,126	319,610	2,306
6	787,675			-6,710	322,258	2,648
令和6年 5月	789,676	444		-5,990	321,342	1,064
6	789,300	-376		-6,078	321,588	246
7	788,839	-461		-6,215	321,786	198
8	788,652	-187		-6,182	322,082	296
9	788,040	-612		-6,720	322,092	10
10	787,675	-365		-6,710	322,258	166
11	787,427	-248		-6,731	322,559	301
12	787,076	-351		-6,794	322,719	160
7年 1月	786,654	-422		-6,789	322,722	3
2	785,748	-906		-6,943	322,513	-209
3	784,924	-824		-7,042	322,433	-80
4	782,674	-2,250		-6,558	323,021	588
5	782,843	169		-6,833	323,800	779
6	782,302	-541		-6,998	324,044	244
7	781,872	-430		-6,967	324,225	181
8	781,686	-186		-6,966	324,468	243
9	781,496	-190		-6,544	324,686	218
10	781,351	-145		-6,324	324,900	214
11	781,238	-113		-6,189	325,170	270

統計分析課『佐賀県の推計人口』

※令和2年10月値は令和2年国勢調査の確報値。

※年値は各年10月1日現在、月値は各月1日現在。



(人口)	11月は、781,238人で、前年同月比6,189人の減少となり、平成9年5月以降連続して、前年同月を下回った。また、前月比113人減少した。
(世帯)	11月は、325,170世帯で、前年同月比2,611世帯の増加となった。また、前月比270世带増加した。

3 佐賀県景気動向指数

1 令和7年9月の動向

- ◆ 先行指数 **37.5%** 3か月連続で50%を下回った。
- ◆ 一致指数 **42.9%** 4か月連続で50%を下回った。
- ◆ 遅行指数 **50.0%** 2か月振りに50%を上回った後、50%になった。

〈個別指標の動向〉

	+ となった指標		- となった指標		保ち合い(0)	
《先行系列》 採用系列数 8 拡張系列数 3.0 指 数 37.5	所定外労働時間数 鉱工業在庫率(生産財・逆) 新設住宅着工戸数	2か月連続 4か月振り 2か月振り	新規求人人数 鉱工業生産指数(生産財) 乗用車新車登録台数 企業倒産件数(逆) 銀行貸出残高(☆)	5か月連続 5か月振り 3か月連続 4か月連続 3か月連続		
《一致系列》 採用系列数 7 拡張系列数 3.0 指 数 42.9	就職率 鉱工業出荷指数(総合) 着工建築物床面積(産業用)	2か月振り 3か月振り 3か月振り	有効求人倍率(就業地別) 鉱工業生産指数(総合) 大型店売上高(☆) 輸入総額(唐津港+伊万里港)	8か月連続 3か月連続 2か月振り 2か月振り		
《遅行系列》 採用系列数 6 拡張系列数 3.0 指 数 50.0	常用雇用指数 陶磁器生産重量(☆) 銀行預貸率	3か月連続 2か月連続 4か月連続	雇用保険受給実人員(逆) 消費者物価指数(☆) 鉱工業在庫指数(総合)	4か月連続 3か月連続 4か月振り		

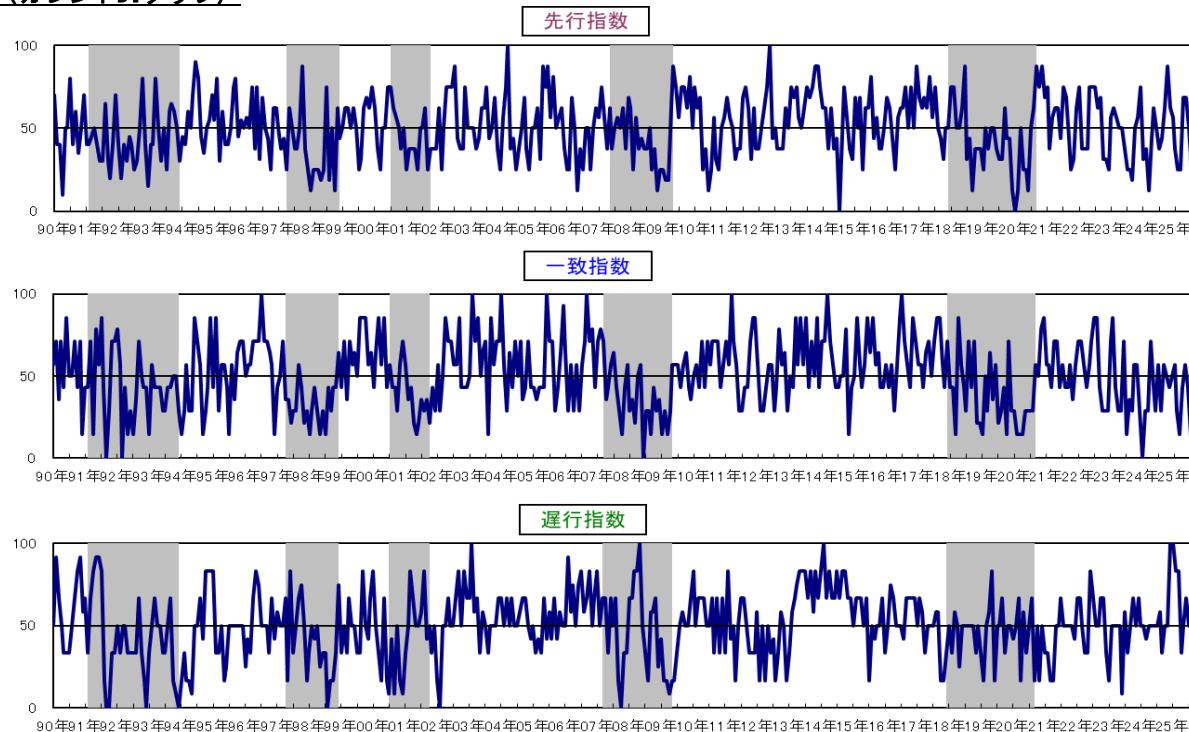
(逆)は逆サイクルを示す。

(☆)は対前年同月比で、その他はセンサス局法により季節調整を行っている。

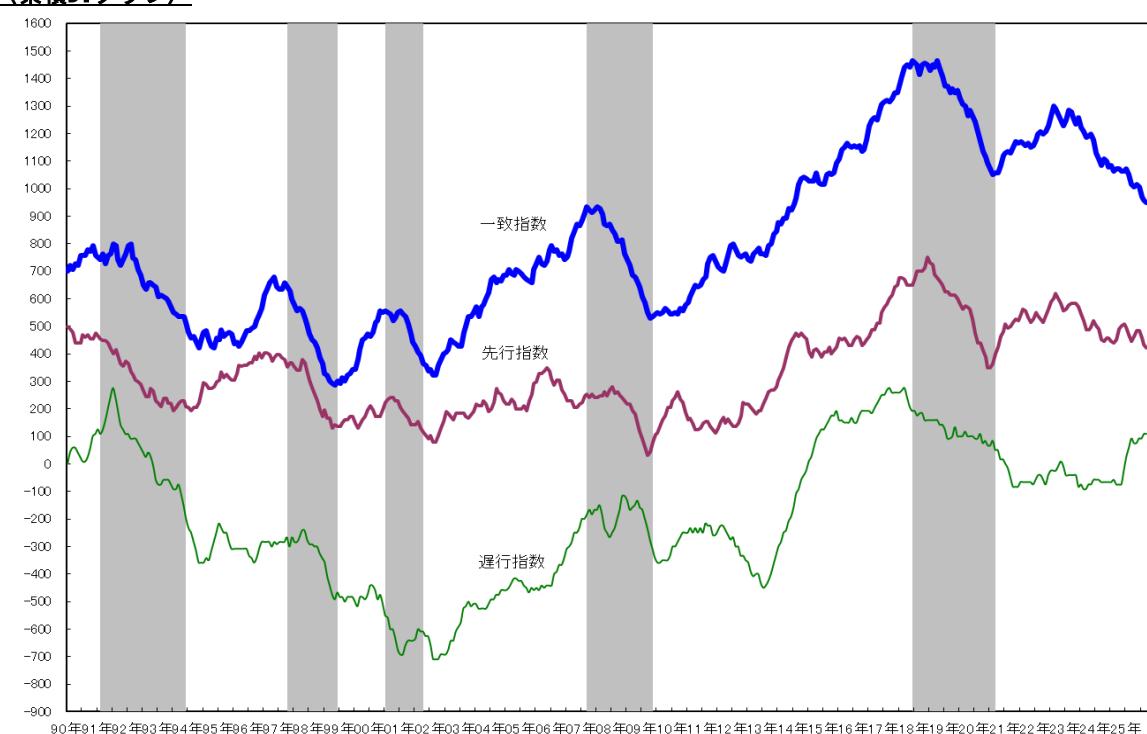
景気動向指数 (DI : Diffusion Index) の見方

- ★ DIは、景気の動きを各種の指標によって総合的にとらえようとするもので、各系列で採用指標のうち3か月前と比較して増加している系列(+)が何%を占めているかを表したものです。
各系列において、指標の計算方法は次式によります。
指標 = (「+」の指標数 + 0.5 × 保ち合い「0」の指標数) ÷ 当該採用指標数 × 100
- ★ DIには3つの指標があり、それぞれ下記のような特徴があります。
 - 「先行指数」 … 景気に対し先行して動き、景気の先行きを予測する。
 - 「一致指数」 … 景気に対しほぼ一致して動き、景気の現状を示す。
 - 「遅行指数」 … 景気に対し遅れて動き、景気の動きを確認する。
- ★ 一致指数が基調的に50%を上回って推移している時期は景気拡張期、50%を下回って推移している時期は景気後退期と判断します。
なお、値そのものの大きさは景気変動の大きさないし振幅を示すものではありません。

〈カレントDIグラフ〉



〈累積DIグラフ〉



※ シャドー部分は景気後退期を示す。

今月の累積DI = 先月の累積DI + (今月のDI - 50)

※ グラフを見やすくするため、本グラフに限り、先行指數は500、一致指數は700を初期値に加算して表示しています。